

第2期加東市教育大綱における令和6年度の取組内容等について

資料1

基本方針/基本的方向			
I 未来を切り拓く子どもを育む 小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にした教育の充実～	令和5年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和6年度における取組	担当課
①「確かな学力」の育成	<p>○小学校と中学校の教員が、学びのつながりを意識して共同で教材研究、授業を行う中で、互いの専門性を生かして指導内容の工夫・改善を図り、子どもの学習意欲の向上につながる乗り入れ授業や出前授業が実施できた。</p>	<p>○乗り入れ授業や出前授業に継続して取り組む中で、小中の教員間の授業交流を活性化させ、子どもの学習意欲の向上につながる授業改善に取り組む。</p>	小中一貫教育推進室
	<p>○小中一貫教育の視点から、個別の学習状況の経年比較ができるようにするため、12月に小学3年生から中学2年生までの国語と算数の2教科と質問紙調査による総合学力調査を実施した。また、1年間の学習の定着を図るため、3学期に調査結果に応じた個別の学習を進める。 ○小中間の円滑な英語教育の連携・推進を図るため、英語科教員とALTによる授業研究会を行った。英検の受検率が向上した。 ○学習コンテンツを活用した授業により、協働的な学びの場面の活用が広がった。</p>	<p>○全国学力学習状況調査及び総合学力調査の結果分析を行い、補充及び発展的な学習の時間を2月から3月に設定して、個別の学力向上を目指すとともに、継続して教師の授業改善に取り組む。 ○小学校から、楽しく英語を学び、英語が好きになる授業改善づくりを研究し、ALTなどと臆することなく英語でコミュニケーションできる能力の育成に努める。 ○授業や家庭学習で使える効果的なコンテンツの活用事例を共有し、児童生徒の情報活用能力を高めるため、工夫して発表する学習機会を増やす。</p>	学校教育課
②夢や志を持ち挑戦する力の育成	<p>○ふるさと学習「かとう学」副読本実践事例集を各校へ配布し、各教科で副読本の活用を推進することで、ふるさとへの愛着や自信と誇りの醸成に努めた。</p>	<p>○令和8年度のふるさと学習「かとう学」副読本第2版の配布に向けて、教員で構成されるふるさと学習推進委員会を立ち上げ、令和6年度から2年間改訂作業を行う。副読本の改訂では、総合的な学習や3・4年生の社会科等の内容の充実を図る。</p>	小中一貫教育推進室
	<p>○トライやる・ウィークでは、地域の協力により事業所を通した5日間の体験活動ができた。地域の人との触れ合いを通し、公共の精神や協調性の涵養、感謝の心を育んだ。 ○子どもの夢や可能性を引き出すため、プロの技能や生き方、高度な専門性にふれる機会を設けた。サイエンス、芸術文化学習、部活動、夢授業プラス講演会等を実施し、やる気や意欲の大切さに気づく子どもが多く、自信や挑戦する気持ちを引き出すことができた。</p>	<p>○事業所を通したトライやる・ウィークの実施を継続し、社会と触れ合うことで、将来の自己の在り方・生き方を考えられるよう、新規の事業所の開拓にも積極的に取り組む。 ○それぞれの分野のプロフェッショナルな講師に出会う機会を増やし、自分の考え方や生き方を振り返り、夢に向かう力を育む取組を継続する。</p>	学校教育課

基本方針/基本的方向			
I 未来を切り拓く子どもを育む 小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にされた教育の充実～	令和5年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和6年度における取組	担当課
③「豊かな心」の育成	<p>○外国人児童生徒等支援連絡協議会を設置し、学校・関係機関との連携を図り、児童生徒を支援する体制を構築した。</p> <p>○加東市立学校人権教育講演会では、命の大切さ、多様な価値観の受容など、幅広いテーマで人権意識の高揚を図ることができた。</p>	<p>○外国人児童生徒の増加に伴い、支援体制の充実に継続して取り組むとともに、多様性を認め合う学校風土を醸成し、互いを認め合う心を育む。</p>	学校教育課
④「健やかな体」の育成	<p>○部活動指導員を増員し、専門的な技術指導により、生徒の主体的な活動を支援することができた。</p> <p>○運動への興味関心を高めるため、社高校体育科生徒が市立全小学校の体育授業の指導補助に入った。</p> <p>○各中学校へスポーツトレーナーを派遣し、自己の健康管理やメンテナンス、スポーツへの意欲・関心の向上を図った。</p>	<p>○部活動の地域移行に向けた具体的な手順や課題を明確にするとともに、関係課・地域団体・兵庫教育大学との連携を図りながら、児童生徒が生涯に渡って文化・スポーツ活動に親しむ環境づくりを整備する機運を醸成する。</p>	学校教育課
	<p>○和食給食の実施に合わせて、市立全小中学校で学期ごとに食育活動を実施するとともに、実施内容を各校で共有することで、自校の活動の一助となった。「まごはやさしいわ」という和食の食材を表す言葉を効果的に使いながら、各校の食育活動を支援し、子どもたちに食に興味を持たせることができた。</p>	<p>○和食給食の実施に合わせた食育活動の定着と、各校の個性を生かした取組により、活気のある給食風景となるよう、学校と栄養教諭が連携して指導を強化するとともに、児童生徒及び教職員の食育意識向上のための取り組みを行う。</p>	学校給食センター
⑤インクルーシブ教育の充実	<p>○昨年度課題であった、子どものいいところ伸ばし講座に参加された保護者の現状等が話し合える機会を設け、実施することができた。</p> <p>○発達検査を含めた子どもの発達・何でも相談について、相談件数に応じた専門職の確保が困難な状況がある。</p>	<p>○発達検査を含めた子どもの発達・何でも相談の専門職の確保に努める。</p>	発達サポートセンター
⑥幼児教育の充実	<p>○公立認定こども園、保育所の段階的な集約に向けて、公立3園の交流機会を増やし、教育・保育の提供体制の推進と保護者の安心につなげた。</p> <p>○保育士・保育教諭等を対象に研修会等を実施し、保育士等の資質向上を図ることで、質の高い教育・保育の提供につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士等キャリアアップ研修（2分野：障害児保育分野、保護者支援・子育て支援分野）…計6回実施 ・保育士フォローアップ研修…計4回実施 ・幼児期人権教育研修（講師養成セミナー、親子セミナー）…計4回実施 	<p>○引き続き交流保育を計画的に実施するなど、公立認定こども園等の再編に向けて準備を進める。</p> <p>○従来の研修会等に加え、新たな研修を実施し、教育・保育の質の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援カウンセラーモデル事業（新規）…計3園実施予定（新規） ・園小連携・接続研修（新規）…計3回実施予定 	こども教育課

基本方針/基本的方向			
II 子どもの学びを支える教育環境の整備	令和5年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和6年度における取組	担当課
①学校の組織力及び教職員の資質能力の向上	<p>○集合型研修やリモート研修、オンデマンド研修等を組み合わせ、教職員の負担を軽減した研修体制を継続し、教職員の資質能力の向上に努めた。</p> <p>○兵庫教育大学と連携した不登校支援の研究やICT教育研修会等により、教職員の資質向上が図られた。</p> <p>○いじめ防止の取組については、兵庫教育大学教授の指導のもと、児童会生徒会の充実を図り主体的に取り組む体制を整えるとともに、同じ教授を講師として学級経営研修を行い、児童生徒、教職員が一体となり取り組むことができた。</p> <p>○不登校支援については、スクールソーシャルワーカーとの連携を強化するとともに、適応指導教室を増設し、不登校児童生徒の居場所づくりと学びの機会ををを広げることができた。登録者や利用者が増えているが、不登校児童生徒数も増えている。</p> <p>○スクール・サポート・スタッフの全校配置により、学習や宿題プリントの準備、印刷やアンケート等のデータ処理等、教職員の業務が軽減され、子どもと向き合う時間が増えた。</p> <p>○自動採点ソフト「百問繚乱」の導入は、採点業務時間を短縮し、業務改善が図られた。</p>	<p>○兵庫教育大学と連携した不登校児童生徒の支援について、成果と課題を市立学校で共有し、各校での未然防止、早期発見、早期対応に生かす。</p> <p>○効果的なICT活用や教員の業務量の適正化を意識し、働き方改革を推進する。</p> <p>○中学校に導入した自動採点ソフトを小学校にも導入することで業務改善が図れるか検証する。</p>	学校教育課
②家庭・地域の力を生かした教育の充実	<p>○兵庫教育大学と連携し、学生を学習支援員として各学校へ派遣し、児童生徒の学習意欲を高めるとともに、学習上のつまずきの解消を図った。</p> <p>○社高校との連携により、体育科の生徒を派遣し、児童の体力向上を図るとともに、運動への興味関心を高めた。</p> <p>○青色パトカーによる下校時の巡回を行い、巡回の際には、各学校の職員室へ立ち寄り、タイムリーに情報交換を行い、子どもの安全確保に努めた。</p> <p>○ネットパトロールによって得た情報は、各学校へ速報し、情報共有による指導に努めた。</p> <p>○不登校支援については、不登校児童生徒の支援とともに、保護者の支援も必要である。</p>	<p>○不登校支援については、不登校児童生徒の保護者を対象に、学校が保護者会を開催することで、心理的負担の軽減を図れるようにする。</p>	学校教育課

基本方針/基本的方向			
II 子どもの学びを支える教育環境の整備	令和5年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和6年度における取組	担当課
②家庭・地域の力を生かした教育の充実	<p>○市内4か所の地域子育て支援拠点において、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場の提供、親として成長するための学びの機会を提供するなど、安心して子育てができる環境づくりを推進した。</p>	<p>○今後も地域子育て支援拠点において、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、子育て支援に関する講座を開催するなど、引き続き、子育ての不安感、負担感を軽減するための取組を実施する。</p>	こども教育課
	<p>○小学生チャレンジスクールについて、子どもたちが、自立して力強く生き抜く力「人間力」の育成を目指して、伝統文化、福祉、創作、野外活動の分野で体験事業を行った。一方で、新規の参加者をどう確保するかが課題となっている。</p>	<p>○小学生チャレンジスクールについて、兵庫教育大学をはじめ、他団体との連携による事業、魅力ある体験の場を提供することで、新規の参加者を確保していく。</p>	生涯学習課
	<p>○学校運営協議会と地域学校協働本部を両輪として、「地域とともにある学校づくり」を推進した。 ○東条地域において、見守り隊だけでなく、児童生徒の絵画作品の展示、地域の方との花植え、総合的な学習や放課後の学習支援など、学校と地域とのつながりを大切にた地域学校協働活動が充実した。</p>	<p>○学習支援、環境整備、見守り活動、学校行事の支援等の「学校応援サポーター」において、地域人材を募集することにより、地域学校協働活動をさらに充実させる。</p>	小中一貫教育推進室
③学校施設の整備と就学支援	<p>○小中一貫校整備において、社地域小中一貫校では、増築校舎棟・交流棟・屋内運動場棟ほかの建設工事を進めた。滝野地域小中一貫校整備では、小中一貫校の基本設計、小中一貫校に必要な用地の取得、物件移転補償を実施した。</p>	<p>○小中一貫校整備において、社地域小中一貫校では、令和7年4月開校に向けて、引き続き建設工事を進めるとともに、社中学校校舎長寿命化改修工事を実施する。滝野地域小中一貫校では、令和10年4月開校に向けて、小中一貫校の実施設計を行うとともに、造成・施設解体等の先行工事に着手する。</p>	小中一貫教育推進室
	<p>○小中一貫校整備を見据え、各学校の老朽度に適応した効果的かつ効率的な修繕等により、学校施設の適正な維持管理に努めた。 ○書画カメラを導入し、遠隔でもスムーズに授業が行えるよう整備を図った。一方で、コンピュータウイルスの侵入により、セキュリティの脆弱性やセキュリティ向上に必要なデータ処理速度についての問題が顕在化した。 ○国の臨時交付金を活用して、2学期及び3学期に市内小中学校及び市外の学校で提供される給食費を無償化し、物価高騰による子育て世帯の経済的負担軽減を図った。</p>	<p>○小中一貫校整備を見据えた効果的かつ効率的な修繕等により、学校施設の適正な維持管理に努める。 ○ICT機器の整備において、教師の働き方改革を推進するため、高速処理が可能な端末機器に更新するとともに、情報セキュリティ対策に努める。 ○経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して就学援助制度を活用した援助とともに、安価な給食費を提供することで、保護者に対して就学に必要な費用の負担の軽減を図る。</p>	教育総務課

基本方針/基本的方向			
Ⅲ 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進	令和5年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和6年度における取組	担当課
①多様な学習機会の充実	○高齢者大学において、合同講座、教養講座、スキルアップ講座、3年ぶりの開催となった館外研修を実施できた。一方で、様々な活動の担い手となる人材の育成や学生の高齢化、新たな入学生の減少が課題となっている。	○運営委員会において、魅力ある高齢者大学となるようアイデアを募り、楽しく学べる合同講座、教養講座、スキルアップ講座、館外研修を計画し、学生が参加したくなるような取組を検討していく。	生涯学習課
②人権教育・啓発の推進	○様々な人権問題をテーマとして、第17期加東市民人権講座（年3回）や人権啓発講演会を開催したほか、人権啓発情報誌を発行した。また、広域隣保活動事業や地域に学ぶ体験学習支援事業、男女共同参画事業等を実施している。○地域に地区住民学習会の実施について積極的に働きかけ、昨年度より多くの地区・自治会で地区住民学習会に取り組んでいただいた。	○より多くの市民が人権問題に関心を持ち、また様々な人権問題について理解を深めていただけるよう、テーマの選定や実施方法を工夫しながら、引き続き講演会等を実施していく。	人権協働課
③文化芸術の振興	○芸能発表や作品展示を行う加東市文化連盟祭を他のイベント（秋のフェスティバル・市文化祭）と合同で開催することができ、市民に活動を広くPRすることができた。○加東市文化連盟について、会員の高齢化・後継者不足が課題となっている。	○加東市文化連盟について、加東市文化連盟祭などの発表の場を他のイベントと合同で開催するなど、活動を広く市民にPRするとともに、発表の機会を設けることで、引き続き団体の活動を支援していく。○加東市文化連盟の会員の高齢化・後継者不足については、各部会で意見交換を行い、新たな事業展開を模索していく。	生涯学習課
④文化財の保護と活用・継承	○加東市指定文化財赤穂義士菩提所保存修理工事に伴う補助事業を実施し、文化財保護を推進した。○例年通り加東遺産講座や文化財教室を実施するとともに、朝光寺本尊の特別公開など、文化財を活用した事業やイベントを行うことで普及啓発に努めた。	○加古川流域滝野歴史民俗資料館や文化財施設の観覧を促す取り組みを進める。○佐保神社本殿の保存修理事業や滝野地域小中一貫校建設に伴う埋蔵文化財発掘調査など、市内の文化財関連事業の実施に伴い現場の公開などのイベントを実施することで文化財保護を推進していく。	生涯学習課
⑤生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	○市民の健康増進を目的としたふれあい球技大会、地域コミュニティづくりとしての地区親善家庭バレーボール大会などを開催することができた。○市民の皆様が安心して大会などに参加してもらうため、大会運営に関しては細心の注意が必要である。	○多くの人が集まる競技大会において、誰でも安全・安心に参加していただくため、大会運営を工夫し、より多くの方に参加していただけるよう努めていく。	生涯学習課

基本方針/基本的方向			
Ⅲ 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進	令和5年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和6年度における取組	担当課
⑥社会教育施設及び社会体育施設の効率的な管理・運営	<p>○社会教育施設及び社会体育施設について、長寿命化計画に基づき、滝野公民館、地域交流センター、やしろ国際学習塾、東条第一体育館の改修を行った。</p> <p>○令和5年4月から5年間、社会体育施設において指定管理者制度を導入し、市民サービス向上・質の高い体育施設の管理・運営に取り組んでいる。</p>	<p>○社会教育施設及び社会体育施設について、長寿命化計画に基づき、順次改修を行っていく。</p> <p>○指定管理者制度を導入している施設について、更なる市民サービス向上・質の高い施設の管理・運営を求めている。</p>	生涯学習課
⑦図書館サービスの充実	<p>○子どもたちを中心に市民が利用しやすい図書館サービスを行った。</p> <p>○図書館利用が困難な人たちに向けて、図書等の宅配サービスを実施した。</p>	<p>○図書館利用が困難な市民に向けての図書等の宅配サービスの充実を推進する。</p> <p>○「はじめてであうえほん」を拡充した「ブックスタート事業」を始め、赤ちゃんが読書に親しむ機会を増やす。</p>	中央図書館